



ほけんだより 5月

令和6年 5月 白鳥保育園 看護師

新年度が始まってあっという間に1ヶ月が経ちました。子どもたちは新しい環境にもだいぶ

慣れてきましたが、少し疲れが出てくる頃かもしれません。体調管理に注意していきましょう。

新年度、こんなサインに

注意

こんなときは……

- きげんがよくない
- 朝、ぐずって「行きたくない」と言う
- 体調が悪い



お子さんを受け止めて

- たくさんスキンシップをとる
- がんばったことをたくさん褒める
- よく話を聞く



新入園のお子さんはもちろん、進級したお子さんも、新しい環境でがんばっています。

新年度は子どもも、体や心の疲れがたまりやすい時期です。

心の不調が体に出ることもあるので、元気のないときは無理をさせないように注意してください。

しっかり受け止めてもらったという安心感が、心を安定させます。



★お知らせ★

5月18日(土) はきりん組・幼稚園組の園児と保護者を対象に、中部協同病院の大城工先生(囑託医)によるフッ化洗口説明会があります。どうぞ、ご参加ください。



4月の感染症

- マイコプラズマ肺炎(分園1名)
- 新型コロナウイルス感染症(本園3名)

尿検査で何がわかる??

尿検査では、**蛋白(たんぱく)尿**、**血尿**、**尿糖**をみえています。

蛋白尿：一過性蛋白尿、起立性蛋白尿、体位性蛋白尿など、動きで蛋白尿が出る場合は問題となることはありませんが、まれにネフローゼ症候群や腎炎という治療を必要とする病気が見つかることがあります。

血尿：尿に血液を構成する成分の一つ、「赤血球」が混ざっている状態です。血尿は尿が作り出される腎臓や、尿の通り道である尿路などに何らかの病気が潜んでいるサインとして現れることがあります。

尿糖：最近では子どもでも糖尿病が増えてきています。糖尿病の早期発見につながります。

尿は見た目での判断が難しく、病気の早期発見のため、年2回の検査は重要です。検査結果はかならず確認し、「要再検」の指摘があった方は、早めに受診するようにしましょう。